Sakae Fuji
Gas Torch
SCT-530

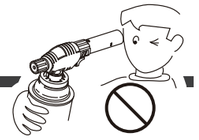
この取扱説明書は大切に保管をしてください。

本製品は「火」を扱う製品です。取扱いを間違えますと、やけど、火災等の危害を及ぼす恐れがあります。取扱説明書の注意事項をよくお読みいただいてからご使用ください。

注意表示について次のような意味があります

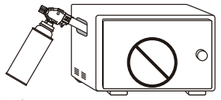
⚠危険	表示を無視して誤った使用をすると、使用者が死亡・重傷を負う危険、又は火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容	⃠	一般的な禁止
⚠警告	表示を無視して誤った使用をすると、死亡や重傷に結びつく可能性が想定される内容	⚠	一般的な注意
⚠注意	表示を無視して誤った使用をすると、傷害を負う・物的損害のみの発生が想定される内容	❗	必ず行う

■使用方法と保管について



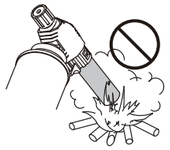
⚠ 危険

- Oリング等の消耗品（ゴム製）は経年により劣化します。使用前にガスが漏れていないか必ず確認する。（Oリングは製品内部にも使用、劣化するとガス漏れの恐れがあり）
- 点火時及び使用中に火口をのぞき込んだり、火口を人に向けたりしない。
- ガス漏れに気付いたら絶対に火を付けない。（引火や爆発の恐れあり）
- 必ずこの器具単独で手で持って使用すること。他の構造物などに固定したり組み込んだり、組み合わせるなどして使用しない。（一酸化炭素中毒の恐れあり）



- 締め切った狭い空間や換気の良くない場所では使用しない。（一酸化炭素中毒や酸欠の恐れあり）

⚠ 警告



- 使用する容器（ボンベ、以下：ボンベ）は、必ずSakaeFuji「Ｇ３００」の表示のあるボンベを使う。それ以外のボンベは使用しない。
- 炎の中に火口を入れない。（故障、またはガス漏れ事故の恐れあり）
- 火口部及び、空気孔周囲を手で触らない。（高温、やけどの恐れあり）
- 風の強い時や、風の強い場所では使用しない。
- 紙、油など燃えやすい物や引火しやすい物の近くで使用しない。
- 分解や、改造は絶対にしない。（故障や事故の原因となるため）
- やけどや火災の原因になりますので下記の取扱いを守ること。
  - ・使用の際は消火器や水を入れたバケツなどを用意し、使用中及び使用後は火の元に十分注意する。
  - ・火が付いている場所から離れない。
  - ・火を付けたまま持ち運んだり投げたり、ボンベを取り外したりしない。



- ボンベは直立した状態で器具へ取り付け、ガス漏れが起きないようガタつきなく固定されていることを確認する。（ガス漏れ事故の恐れあり）



- 火口に対象物が触れたり、火口で対象物を動かしたり、火口を対象物の隙間に突っ込むような使い方をしない。（ガス漏れや点火装置の故障の恐れあり）
- 消火後、再度点火する際は、器具が十分冷めた事を確認して点火すること（故障の恐れあり）
- 使用していない時は、必ずボンベから取り外し、ガス調節ツマミを閉にして、製品各部にゴミや異物・虫・水分などがつかない状態で保管する。

⚠ 注意

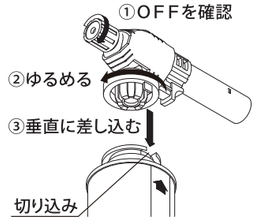
- 輻射熱を受けるような使用や、弱火での長時間燃焼はしない。（故障の恐れあり）
- 熱に弱いもの（ビニールクロスなど）がある場所で使わない。
- 落下した場合や強い衝撃が加わった場合は使用を中止する。
- 子供の手の届く場所に置かない。また、子供に使用させない。
- 使用中、使用直後の火口と火口周辺、及び空気孔周辺は高温になっているため手で直接触らない。また、熱に弱い物が触れないようにする。
- 未使用品であっても、製造後７年以上経過した製品の使用は危険ですので使用しない。（製造後７年以内であっても、使用前には必ず点検を行い、不具合があった場合は使用しない）

⃠ 日本国内専用。海外への持ち出し不可。

容器（ボンベ）の装着

～ご使用前に確認してください～

ロックナットのツメ（６本）が折れていたり、ガイドが外れている、または無い場合は使用しない。（ボンベの装着不良で、ガス漏れや生ガス燃焼の原因となり危険）

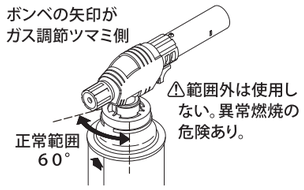


①ガス調節ツマミの「ＯＦＦ」を確認。
②ロックナットを矢印方向に軽く止まるまで回す。
※止まるまで回していないと装着出来ないため要確認
③ボンベを正立させ、ボンベの切込みへロックナットのガイドを垂直に差し込む。
④片手でバルブを持ち、片手でボンベを持ってボンベを矢印方向へ止まるまで締める。締めた後、ボンベの切り込み位置を示す矢印が右下図の範囲内（６０°以内）にあること。

❗ ボンベは垂直に立てる（正立）

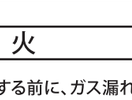
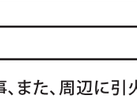


容器（ボンベ）切り込み範囲



⚠ 警告

- ボンベの着脱は、周囲に火の気がないことを確認してから行う。
- ボンベが直立した状態で取り付け、ガス漏れが起きないようにガタつきなく固定されたことを確認する。

⚠ツメ破損注意	⚠生ガス危険
	
バーナー本体を傾けてボンベ装着しない。強く締めない。	使用直前・ボンベ装着時に、ボンベを傾けたり逆さ向きにしない

点　火

❗点火する前に、ガス漏れの無い事、また、周辺に引火物・可燃物がないことを確認。



①ガス調節ツマミを反時計回りに回し、ガスを少し出す。
②点火ボタンを押して点火。点火したことを確認する。
一度で点火しない場合は何度か続けて点火ボタンを押す。
③火力の調節はガス調節ツマミでおこなう。

⚠ 警告

- 点火時にボンベを傾けない。ボンベを立てた状態で点火する。
- 点火後すぐに傾けない。傾けて使用する場合は、点火後１分間予熱作業を行ってから傾けて使用する。
- 使用中はバーナー本体を持たない。必ずボンベを持って使用する。

⚠ 注意

- 点火の際、空気孔を塞がないこと。（空気不足により点火しない為）

逆さや傾けて使用する場合

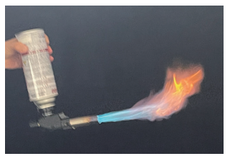
❗必ず１分間の正立燃焼（予熱）をおこなってから使用する。

- 約１分間の正立燃焼後、継続的な逆さ使用が可能。（使用温度などの環境により使用可能時間は異なる）
- 消火した場合は、改めて約１分間の正立燃焼をおこなってから使用する。

⚠ 警告

生ガスへの点火・燃焼は大変危険

- 赤く長い炎があがり（生ガス燃焼）やけど・火災の原因となるため、下記の取り扱いを必ず守ること。
  - ・火口より生ガス(白い霧状のガス)が出た時は点火しない(一度ガスをとめて、再度点火操作を行うこと)
  - ・予熱中や予熱をおこなわずに、ボンベを傾けて使用しない
  - ・燃焼中にバーナー本体やボンベを激しく振ったり、火口に衝撃を加えない



- 赤く長い炎になった場合は、ボンベを外したり投げたりせずに、正立の状態戻すこと。（しばらくすると青い正常な炎になります）

ロックナットのツメが折れた時や変形がある時、ガス調節ツマミが曲がっている時は使用禁止

（ガス漏れ・引火注意）

使用後はバーナーと容器（ボンベ）を外して保管する事

（ガス漏れ注意）

消火・容器（ボンベ）の取り外し

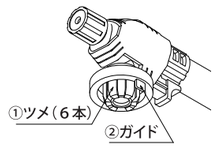
ガス調節ツマミを「ＯＦＦ」の方向に回して消火。完全に火が消えたことを必ず確認すること。
ボンベの取り外しは装着と逆の手順です。

❗使用後は製品が冷えてから必ずボンベを取り外して、ボンベにキャップをして保管。
ボンベ装着したままの保管禁止。（ロックナットのツメが破損したりガスが漏れ大変危険なため）

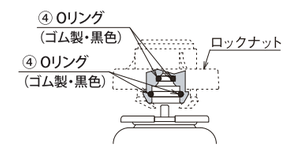
日常の点検、手入れ

❗日常の点検・手入れは使用前に必ずおこなってください。
点検は、製品が冷えた状態で、ボンベを取り付ける前におこなってください。

下記の①～④に一つでも該当する場合は使用をしない。（思わぬ事故につながり大変危険なため）
①ロックナットのツメ（６本）に変形、破損がある
②ロックナットのガイドに破損、紛失がある
③点火ボタンを押したときに、火口内部で火花が飛ばない（火口の口元を暗くして確認する）
④バーナーのボンベ取付部にあるOリングに傷やゴミがついている





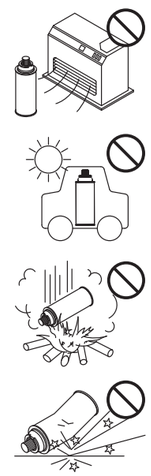


■使用容器（ボンベ）取扱上の注意

●ボンベに表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。

⚠ 警告

- ボンベが高温になると、ボンベ内の圧力が過多になり、爆発の原因となるため下記の取扱いを守ること。
  - ・ボンベをストーブ（ファンヒーター）、ガスコンロ、七輪、炭火台、電磁調理器など熱や熱気の出るものの上や前、付近に置かない。
  - ・輻射熱を受けやすいような至近距離での燃焼はしない
  - ・炭等の可燃物に着火後すぐにバーナーを消火し、ボンベを火元から離す
  - ・車内や、火気・直射日光の当たる場所で保管しない
  - ・ボンベを火中へ投じたり、焚火や着火した炭付近においたり、熱い砂の上に置かない
  - ・ボンベは必ずキャップをして風通しが良く湿気の少ない４０℃以下の室内で保管する



- ガス漏れの原因となりますので下記の取扱いを守ること。
  - ・ボンベに強い衝撃を与えない
  - ・ボンベは時々点検をして、錆や変形などがある場合は使用しない
- 使用済みボンベへ再充填しない。
- ボンベは完全に使い切ってから各自治体の処理方法に従って処分する。
- ボンベは製造後7年以内を目安に使い切る。

お買い上げいただきました製品には万全を期していますが点検で不備な点、及び製品について不具合やご不明点があった際はお買い求めになった販売店・代理店、または製造元(0533-73-1190)へご連絡ください。

ver.6